

令和4年度 決算説明資料

令和5年10月5日

環境局

目 次

	頁
1 オフィスの環境負荷低減実証事業の実績 -----	1
2 タブレット会議システムの実績 -----	2
3 生物多様性条約第15回締約国会議（COP15）に係る参加行事等 -----	3
4 藤前干潟ラムサール条約登録20周年記念事業の主な内容及び実績 -----	4
5 市施設の再生可能エネルギー電力の導入 -----	5
6 住宅等の低炭素化促進補助等の執行状況 -----	6
7 中小企業向け省エネ相談事業 -----	7
8 集団資源回収の実施状況等 -----	8
9 ごみの自己搬入件数 -----	9
10 小型家電リサイクル事業の実施状況 -----	10
11 公衆便所の設置状況 -----	11
12 清掃工場の一覧 -----	13
13 焼却工場から発生した灰の処理実績 -----	15

1 オフィスの環境負荷低減実証事業の実績

(1) 趣旨及び概要

区 分	内 容
趣 旨	環境局環境企画部において、フリーアドレスの導入・ペーパーレス化の推進等により、オフィスにおける環境負荷の低減に取り組む。
概 要	・フリーアドレスの実施、オンライン会議スペースの新設による業務の効率化 ・用紙類の使用に関する共通ルールの設定、モバイルP Cの導入や打合せスペースへのモニターの設置等によるペーパーレス化の推進 ・間伐材を使用した執務机、パーティション等の木質化

(2) 実績

区 分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
用 紙 使用枚数	3 2 3, 1 4 4 枚	2 3 7, 9 6 2 枚	1 7 2, 0 2 8 枚
削 減 効 果			
枚 数	—	8 5, 1 8 2 枚	1 5 1, 1 1 6 枚
重 量	—	3 4 1 k g	6 0 4 k g
削減率	—	2 6 %	4 7 %

(注1) 削減効果は令和2年度比の値である。

(注2) 重量は1枚あたり4グラムで試算した。

2 タブレット会議システムの実績

(1) 趣旨及び概要

区 分	内 容
趣 旨	幹部会等の庁内会議を、タブレット端末を用いたペーパーレスで行うことにより、庁内で使用するコピー用紙の削減に取り組む。
概 要	・タブレット会議システムのサーバーとタブレット端末を無線LANで接続し、会議参加者間で資料を共有することにより、ペーパーレスの会議を実現する。 ・インターネット接続やLANケーブル設置が不要なため、会議室のネットワーク設備の整備状況に関係なくシステムを利用できる。 ・環境局がシステムを導入し、各局に貸し出しを行っている。 ・システム構成 サーバー用ノートパソコン 2台 タブレット端末（11インチ） 40台 タブレット端末（10.2インチ） 25台
導入時期	令和2年8月

(2) 実績

区 分		令和2年度	令和3年度	令和4年度
利用回数		164回	254回	238回
用紙削減 効 果	枚数	115,410枚	163,542枚	156,438枚
	重量	462kg	654kg	626kg

(注1) 令和2年度は、令和2年8月から令和3年3月までの数値である。

(注2) 重量は1枚あたり4グラムで試算した。

3 生物多様性条約第15回締約国会議 (COP15)に係る参加行事等

(1) COP15の概要

区 分	内 容
開 催 期 間	令和4年12月7日～19日
開 催 地	モントリオール市（カナダ）
参加国及び参加者数	189か国 9,472人
主 な 結 果	生物多様性に関する新たな世界目標である 「昆明・モントリオール生物多様性枠組」の採択

(2) 参加行事等

区 分	内 容
成 果 発 表	COP15併催の会議等において本市の生物多様性に関する取り組み成果について発表 ・第7回生物多様性国際自治体会議 ・スコットランド政府主催シンポジウム ・雲南省、昆明市等主催シンポジウム
会 談	生物多様性に関する新たな世界目標を踏まえた今後の取り組み等について、それぞれ意見交換 ・生物多様性条約事務局長 ・パリ市副市長 ・スコットランド政府大臣 ・昆明市長
視 察	環境学習施設及び生物多様性に配慮した再開発等について視察

4 藤前干潟ラムサール条約登録 20周年記念事業の主な内容及び実績

(1) 藤前干潟ふれあい事業

区 分	内 容
趣 旨	環境省、市民団体等と実行委員会を組織し、藤前干潟を保全し活用することの意義と重要性を伝えるとともに、藤前干潟を通じて次代を担う人材の育成を推進
事 業	ア 藤前干潟ふれあいデー2022 (ア) 開催日 令和4年11月19日(土) (イ) 会場 稲永会場・藤前会場 (ウ) 来場者数 延べ3,000人 (エ) 主な内容 記念式典、シンポジウム、ステージイベント、 ブース出展(17団体) イ その他主催事業(7事業) 干潟体験会や生きものに関する講座等 ウ 連携事業等(49事業・22団体) 茶屋新田田んぼアート、名古屋港水族館における展示、 イオンモール名古屋茶屋におけるSDGsフェスに出展、 あおなみ線車両記念ヘッドマークによる啓発等

(2) 藤前干潟プロムナード事業(令和2年度から令和4年度まで)

区 分	内 容
趣 旨	緑政土木局及び港区と連携し、藤前干潟のラムサール条約登録20周年に向けて藤前干潟を望む稲永公園一帯においてプロムナード(散歩道)を整備し、藤前干潟の保全の歴史や魅力を発信
令和4年度事業	・20周年記念トークショー ・プロギング&藤前干潟プロムナードガイドツアー等

5 市施設の再生可能エネルギー電力の導入

(1) 再生可能エネルギー100%電力の導入施設

(単位：千円)

施 設 名	決 算 額
市 庁 舎 (本庁舎・東庁舎・西庁舎)	17,210
東山動植物園 北園エリア	14,346
なごや生物多様性センター	76
合 計	31,632

(注1) 再生可能エネルギーとは、エネルギー供給構造高度化法等により「太陽光発電及び太陽熱発電、風力発電、水力発電、バイオマス発電、地熱発電、大気中の熱その他の自然界に存する熱」と定義されている。

(注2) 決算額は、通常の電力量料金に上乘せされた、再生可能エネルギー由来の電力分の金額である。

(2) 消費電力量に占める再生可能エネルギー電力の割合

区 分	電 力 量	導 入 割 合
再生可能エネルギー 100%電力の購入量	11,136MWh (11,136MWh)	1.5% (4.2%)
太陽光発電による発電量	1,891MWh (1,461MWh)	0.3% (0.5%)
合 計	13,027MWh (12,597MWh)	1.8% (4.7%)

(注1) 太陽光発電による発電量は、市自らが電力を使用している設備の容量からの推計値である。

(注2) 括弧内の数値は、市長部局等（市全体から企業局を除いたもの）の数値である。

(注3) 導入割合は、「なごや環境マネジメントシステム」で集計している消費電力量から算出した数値であり、市全体の消費電力量は728,145MWh、市長部局等の消費電力量は266,853MWhである。

6 住宅等の低炭素化促進補助等の 執行状況

区 分	令和3年度			令和4年度		
	件数 (件)	決算額 (千円)	執行率 (%)	件数 (件)	決算額 (千円)	執行率 (%)
一体的導入	282	55,239	51.0	356	71,577	69.3
Z E H Z E H +	72	11,500	67.7	133	23,800	68.0
Z E H + R	45	13,050	90.0	—	—	—
Z E H Z E H + と 同 時 に 設 置 す る 蓄電システム	—	—	—	67	6,030	51.5
V 2 H 充 放 電 設 備	8	400	40.0	13	650	65.0
家庭用燃料 電池システム	343	10,290	68.6	397	11,910	99.3

(注1) 一体的導入とは、太陽光発電設備、蓄電システム、HEMS（ホーム・エネルギー・マネジメント・システム）を同時に導入する区分をいう。

(注2) Z E H（ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス）とは、家庭で消費する年間エネルギー量を正味でゼロ以下にする住宅をいう。

(注3) Z E H + Rは、Z E Hより高い省エネルギー性能を備え、設備のより効率的な運用等により太陽光発電等の自家消費率拡大を目指したZ E H +に蓄電システムを同時に導入する区分をいう。

(注4) V 2 H（ビークル・トゥ・ホーム）充放電設備とは、太陽光発電設備等からの電気を電気自動車等に充電するとともに、充電した電気を住宅へ供給する設備をいう。

7 中小企業向け省エネ相談事業

(1) 実績

(単位：件)

区 分	令和3年度	令和4年度
省エネルギー訪問相談	1, 8 6 2	2, 3 5 5
なごや省エネ相談	4	3
合 計	1, 8 6 6	2, 3 5 8

(注1) 省エネルギー訪問相談とは、本市の事業者環境推進員が、事業系廃棄物減量計画書提出事業者を訪問し、省エネルギーに関するアドバイスや情報提供等を行うもの。

(注2) なごや省エネ相談とは、中・小規模事業所が相談できる窓口を設置し、エネルギー管理士の資格を有する職員が省エネルギー対策の提案や情報提供を行うもの。

(2) なごや省エネ相談の主な相談内容及び助言内容（令和4年度）

区 分	相 談 内 容	助 言 内 容
工 場	・省エネ活動を何から始めれば良いかわからない。 ・費用のかからない省エネ対策を教えてほしい。	・エアコンの待機電力削減と室外機の洗浄による運転効率の向上 ・ボイラーの燃焼空気比の調整
販 売 店	・取引先から省エネの取り組みを求められているため、少しでも省エネにつながる取り組みを教えてほしい。	・パソコンの電源管理の徹底 ・過剰な換気の見直し ・電気ポットの使い方の工夫
オフィスビル	・エネルギーコストが上昇しているため節電を進めたい。 ・運用面の改善による省エネにつながる取り組みを教えてほしい。	・空調運転時間・照明点灯時間のルール化 ・サーバー室の空調温度の緩和

8 集団資源回収の実施状況等

(1) 集団資源回収の実施状況

区 分		令和3年度	令和4年度
団 体 数	学 区	171団体	171団体
	一 般	2,371団体	2,320団体
回 収 量	学 区	19,983トン	19,077トン
	一 般	32,210トン	30,072トン
	合 計	52,193トン	49,149トン
団体への 事業協力金	学 区	60,548千円	57,891千円
	一 般	139,041千円	156,015千円
	合 計	199,589千円	213,906千円
業者補助金	学 区	48,880千円	35,599千円

(注) 学区は学区協議会方式、一般は一般方式を示す。

(2) 古紙市況単価

区 分	令和3年度	令和4年度
単 価	6.1円/kg	7.0円/kg

(注) 古紙の業界紙に掲載された中部地区の年間平均価格によるものである。

(3) 無人回収所の拠点数

区 分	令和3年度	令和4年度
拠 点 数	133箇所	146箇所

(注) 各年度末現在の本市で把握している設置箇所数である。

9 ごみの自己搬入件数

(単位：件)

種 別	搬 入 施 設	令和3年度	令和4年度
可 燃	猪子石工場	6, 3 4 1	6, 5 1 5
	富 田 工 場	3, 2 9 6	3, 4 1 8
	鳴 海 工 場	3, 7 1 6	3, 7 8 0
	合 計	1 3, 3 5 3	1 3, 7 1 3
不 燃 粗 大	大江破碎工場	3 8, 5 3 3	4 1, 3 1 7
	愛岐処分場	2, 2 9 8	1, 6 2 1
	合 計	4 0, 8 3 1	4 2, 9 3 8

(注) 許可業者等による継続的な搬入の件数は含まない。

10 小型家電リサイクル事業の実施状況

(1) 回収量および回収拠点数

区 分	令和3年度	令和4年度
回 収 量	200トン	216トン
回 収 拠 点 数	56箇所	72箇所

(注) 令和4年度の回収量は、充電式家電の回収量を含む。

(2) 回収した小型家電から得られた金属量

(単位: kg)

区 分	令和3年度	令和4年度
鉄	47,089.7	64,147.0
アルミニウム	2,546.7	6,696.3
銅	11,818.7	15,448.9
ステンレス	832.0	4,270.0
金	3.1	0.5
銀	17.1	0.5
パラジウム	0.8	0
合 計	62,308.1	90,563.2

(注) 認定事業者からの報告に基づくものである。

1 1 公衆便所の設置状況

名 称	区	所 在 地	当 初 設 置 年	男女別	便器基数				
					大	車いす 対応	洋式	和式	小
白山神社横	東	矢田二丁目	昭和60年	無	1	0	0	1	1
六 所 社	東	矢田南一丁目	昭和36年	無	1	0	0	1	1
豎代官公園	東	代 官 町	昭和58年	無	1	0	0	1	1
御用水跡	北	真 畔 町	昭和56年	無	1	0	0	1	2
上飯田南団地	北	上飯田南町	昭和53年	無	1	0	0	1	2
清水 駅 南	北	清水二丁目	平成 5年	有	2	0	0	2	1
森 下 駅 北	北	大曾根二丁目	平成 5年	有	2	0	0	2	1
多 奈 波 太 神 社 東	北	金城四丁目	平成 8年	有	2	0	0	2	1
親水広場北	北	黒 川 本 通	平成13年	有	2	0	0	2	1
琵琶里公園	西	枇杷島五丁目	昭和59年	無	1	0	0	1	1
押切第2公園	西	押切二丁目	昭和55年	無	1	0	0	1	1
榎 公 園	西	押切一丁目	昭和35年	無	1	0	0	1	1
名古屋城西	西	樋 の 口 町	大正11年	有	2	0	2	0	1
伊奴神社前	西	江 向 町	平成15年	有	2	0	0	2	1
東 照 宮 西	中	丸の内二丁目	昭和 9年	無	1	0	0	1	1

名 称	区	所 在 地	当 初 設 置 年	男女別	便器基数				
					大	車いす 対応	洋式	和式	小
本 町 公 園	中	丸の内三丁目	昭和34年	無	1	0	0	1	1
錦 通 伏 見 交 差 点 東	中	錦 二 丁 目	昭和24年	有	2	0	0	2	1
錦三丁目8東	中	錦 三 丁 目	昭和24年	有	2	0	0	2	1
栄 噴 水 西	中	錦 三 丁 目	昭和33年	有	4	0	0	4	3
西大須公園	中	大須一丁目	昭和41年	無	1	0	0	1	1
那古野山公園	中	大須二丁目	昭和28年	有	2	0	2	0	1
大須観音前	中	大須二丁目	大正12年	有	3	0	3	0	4
田 辺 公 園	瑞穂	田 辺 通	昭和50年	無	1	0	0	1	1
熱田神宮東	熱田	神宮一丁目	昭和40年	無	1	0	1	0	1
金山総合駅南	熱田	金山町一丁目	平成 4年	有	5	1	3	1	3
笠 寺 観 音	南	笠 寺 町	昭和49年	有	2	1	1	0	1
小幡緑地駅	守山	竜泉寺二丁目	平成13年	有	5	2	0	3	2
有松駅前広場	緑	鳴 海 町	平成14年	有	4	1	3	0	3
引山交通広場	名東	引山四丁目	平成 2年	有	2	0	1	1	2

(注) 令和5年3月31日現在の状況である。

1 2 清掃工場の一覧

(1) 稼働中

名 称	完 成 年 月	ご み 種	設 備 規 模
猪子石工場	平成14年3月	可 燃	600トン/日
五条川工場	平成16年7月	可 燃	560トン/日
鳴海工場 (PFI)	平成21年6月	可 燃 破 碎 不 燃 焼 却 灰	530トン/日 (可燃ごみ等 450トン/日 他工場焼却灰 80トン/日)
富田工場	令和2年6月 (設備更新)	可 燃	450トン/日
北名古屋工場 (PFI)	令和2年6月	可 燃 不燃・粗大	660トン/日 破碎設備 50トン/日
大江破碎工場	平成9年3月	不燃・粗大	400トン/日

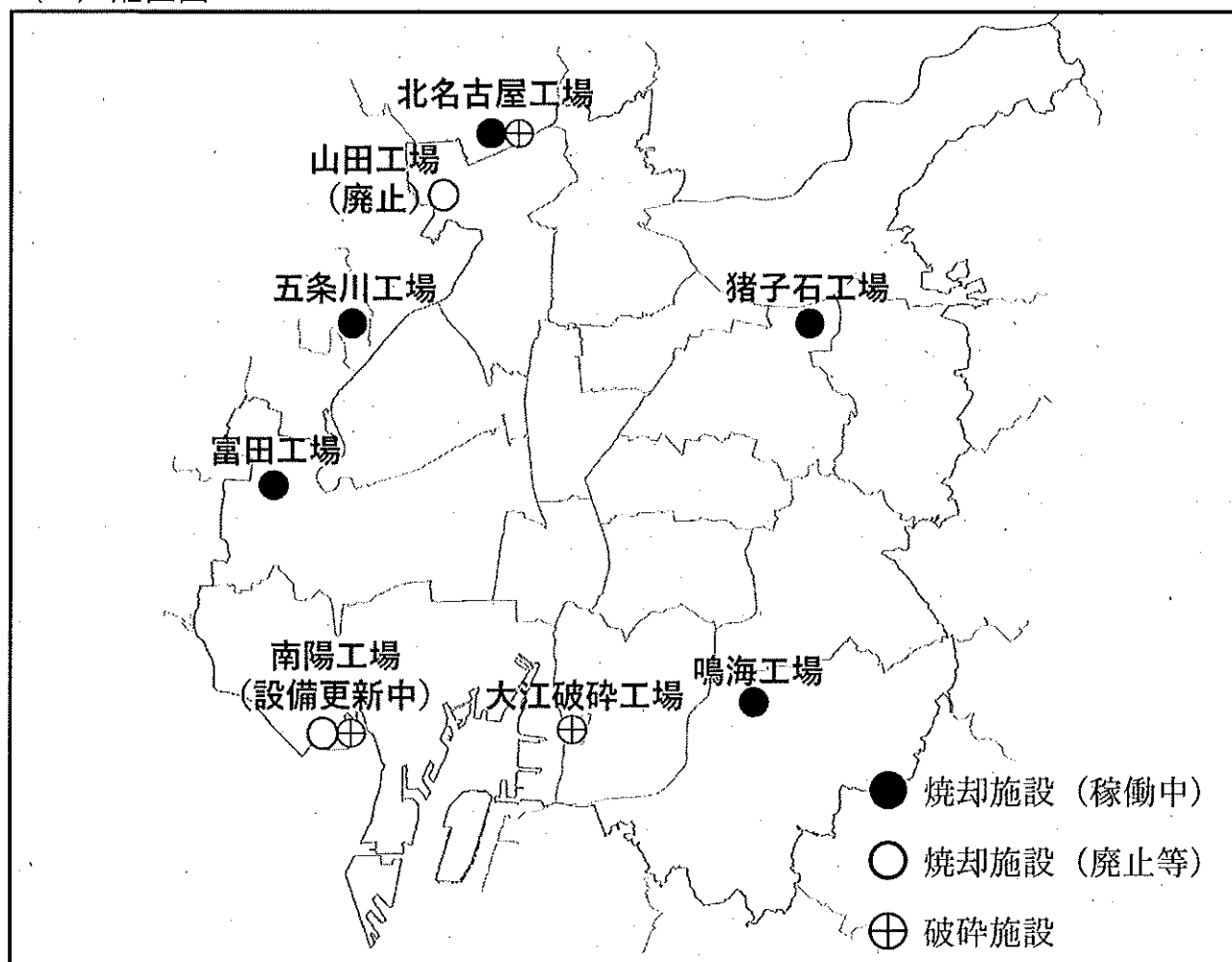
(2) 整備中

名 称	完 成 年 月	ご み 種	設 備 規 模
南陽工場	令和9年3月 完 成 予 定 (設備更新)	可 燃 不燃・粗大	560トン/日 破碎設備 100トン/日

(3) 廃止

名 称	概 要
五 条 川 工 場 (溶融設備)	平成29年度廃止、設備残置
山 田 工 場	令和5年度解体工事完了後、西資源センター移転改築 (ペットボトル 4トン/日)

(4) 配置図



1 3 焼却工場から発生した灰の 処理実績

区 分			南 陽 工 場	猪 子 石 工 場	五 条 川 工 場
ご み 処 理 量			— (2 6 7, 4 1 4)	1 2 4, 7 4 7 (1 4 9, 5 4 1)	1 0 5, 6 7 1 (1 2 3, 7 5 8)
焼却灰・溶融飛灰 発 生 量			— (3 6, 4 8 9)	1 5, 0 2 5 (1 7, 7 7 0)	1 5, 1 0 5 (1 5, 9 5 8)
他市町持ち帰り分			— (1, 4 1 9)	4, 0 8 4 (2, 9 9 2)	0 (0)
資源 化 量	溶 融	鳴海工場	— (4, 9 3 1)	9, 0 8 2 (9, 3 4 0)	6, 6 9 1 (6, 2 4 6)
		民 間	— (4, 6 9 6)	6 8 9 (0)	3, 0 0 7 (1 0 2)
	セ メ ン ト		— (0)	0 (0)	0 (4, 9 9 4)
	焼 成		— (0)	0 (0)	0 (0)
	溶融飛灰の 山 元 還 元		— (—)	— (—)	— (—)
埋 立 量	愛岐処分場		— (8, 8 9 4)	2 6 6 (5, 0 7 3)	2 5 2 (4, 5 9 8)
	第二処分場		— (1 0, 1 7 9)	7 4 (3 5 7)	1, 4 7 1 (0)
	衣浦港3号地 廃棄物最終処分場		— (6, 3 6 9)	8 3 0 (8)	3, 6 8 3 (1 7)

(注1) 数値は他市町分を含む。

(注2) 数値の単位未満は四捨五入のため、合計と内訳の計が一致しない場合がある。

(注3) 括弧内は、平成30年度の数値である。

(単位：トン)

富田工場	鳴海工場	北名古屋工場	合 計
108,533 (-)	133,335 (135,685)	166,569 (-)	638,855 (676,398)
13,169 (-)	5,418 (5,677)	5,134 (-)	53,851 (75,893)
0 (-)	- (-)	- (-)	4,084 (4,411)
4,606 (-)	- (-)	- (-)	20,380 (20,517)
661 (-)	- (-)	- (-)	4,357 (4,798)
2,183 (-)	- (-)	- (-)	2,183 (4,994)
1,314 (-)	- (-)	- (-)	1,314 (0)
- (-)	0 (0)	5,134 (-)	5,134 (0)
229 (-)	698 (83)	- (-)	1,445 (18,648)
1,427 (-)	- (-)	- (-)	2,973 (10,536)
2,748 (-)	4,720 (5,593)	- (-)	11,981 (11,988)

